

DAITECH ROOFING CONCRETE TILE CATALOG

ダイテック(株) RIVS(リブス)工法・防水立上がり乾式保護工法・屋上外断熱工法・浮貼工法・PC排水溝・PCボーダーカタログ



屋上を保護するダイテック(株)の「RIVS(リブス)工法」と「防水立上がり乾式保護工法」。

優れた防水・断熱効果を一段とアップし、工期の短縮とメンテナンスの容易性を実現しました。

建築物の屋上は、風雨や紫外線、赤外線など苛酷な自然環境にさらされています。ダイテック(株)では、この厳しい自然環境から、屋上の躯体、防水層の保護と断熱性能を維持する屋上外断熱工法に新たな技術を開発いたしました。優れた防水・断熱効果と工期の短縮を実現した「RIVS(リブス)工法」は、弊社製品の「DVブロック」と高性能発泡ポリスチレン断熱材を組み合わせた屋上保護工法。立上がり工事の面倒な工程を大幅に簡略化し、メンテナンスも容易な「防水立上がり乾式保護工法」。

快適な室内環境づくりを実現するダイテック(株)の「RIVS(リブス)工法」と「防水立上がり乾式保護工法」を是非ご検討ください。

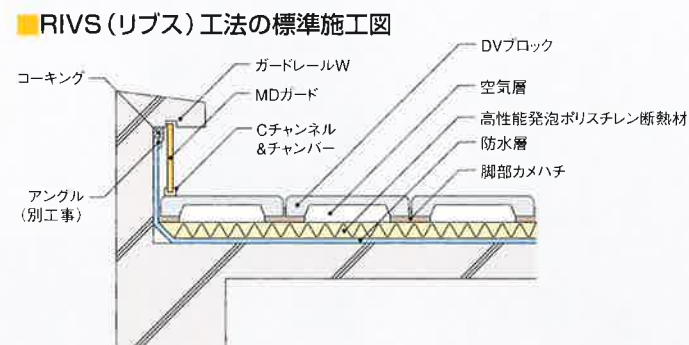
DVブロック使用

リブス

RIVS工法

RIVS工法とは:Roof Insulation with Ventilation Systemの略です。

高性能発泡ポリスチレン断熱材の上に空気層を設け、DVブロックを据付ける工法。通気層を通して高い防暑性能を発揮、また侵入した雨水の乾燥を早め安定した断熱性能を維持します。



DVブロックの施工順序



高性能発泡ポリスチレン断熱材の敷込み



DVブロックの据付け(端部納まり例)

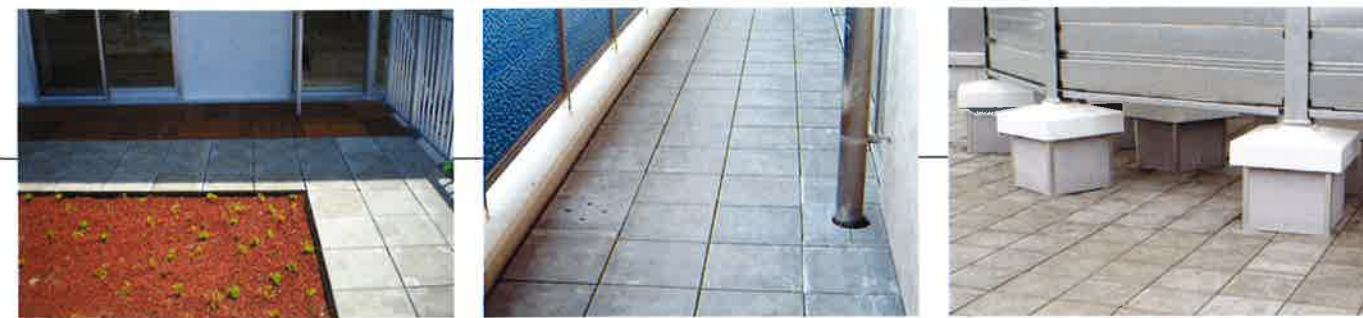
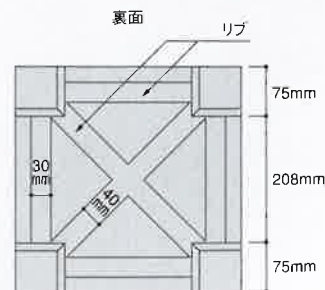
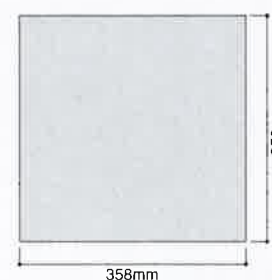


完成



ドレーンの仕上げ例

DVブロック

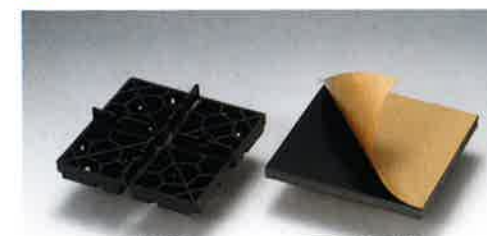


DVブロック使用

カメハチ工法・マット工法

防水層の上に直接、DVブロックを据付け可能な工法。ブロック脚部にカメハチまたは両面接着マットの台座を使用。作業の効率アップとメンテナンスの容易性を実現します。

台座



カメハチ 両面接着マット

役物



ドレーン用ブロック(4つ穴は32φ・1つ穴は160φ)

※マット工法は下地なりの施工となり、高さ調整はできません。

カメハチ工法と防水立上がり乾式保護工法の施工順序



DVブロック基準貼



DVブロック貼り付け



立上がり施工



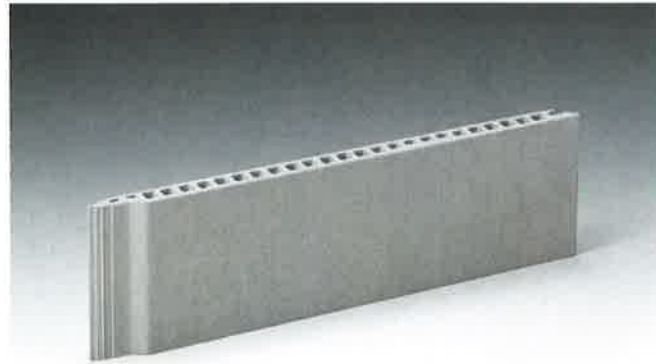
完成

確かな通気性と作業性の効率化を実現した ダイテック(株)の「防水立上がり乾式保護工法」。

信頼性の高い防水機能と作業の工期短縮、メンテナンスまで高品質、高技術でお応えします。

防水立上がり乾式保護工法は、立上がり工事をよりスピーディーに施工できる後付け工法です。押さえコンクリート据付け後に取付けるため、通気性がよく防水層の保護また工期の短縮と作業の省力化も実現しました。住宅用外装材に使用されているMDガードは、窯業系セメント板と押し出し成形セメント板のため紫外線や風雨にも強く、安全なゼロアスベスト製品です。また従来工法に比べメンテナンスが容易で防水層の点検や補修にも優れた効果を発揮します。

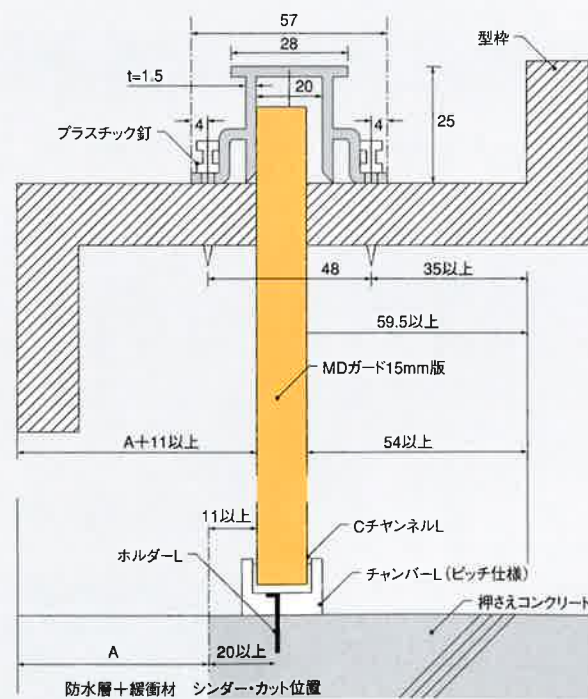
MDガード15mm板 本実タイプ



高さ100~600mm×動き巾303mm

MDガードレールWの設置図

●MDガード15mm板の場合



ガードレールは、ジョイントからトロモシのおそれがあります。必ずジョイントカバーを付けるように指示してください。



ラムダアブ下



ラムダ水切納まり



サッシ部水切納まり

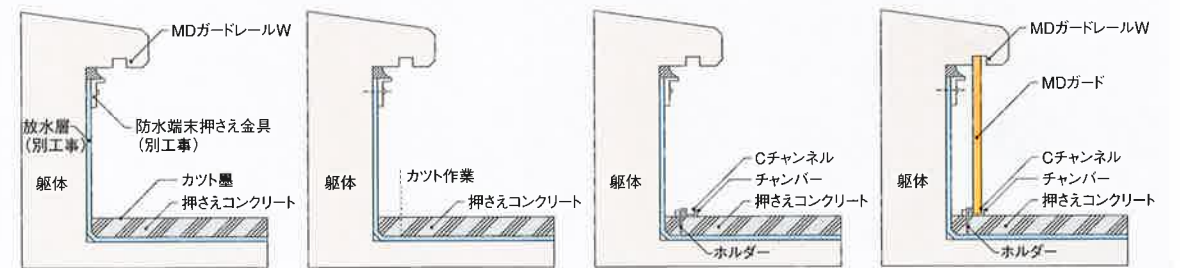


サッシ部アゴ納まり



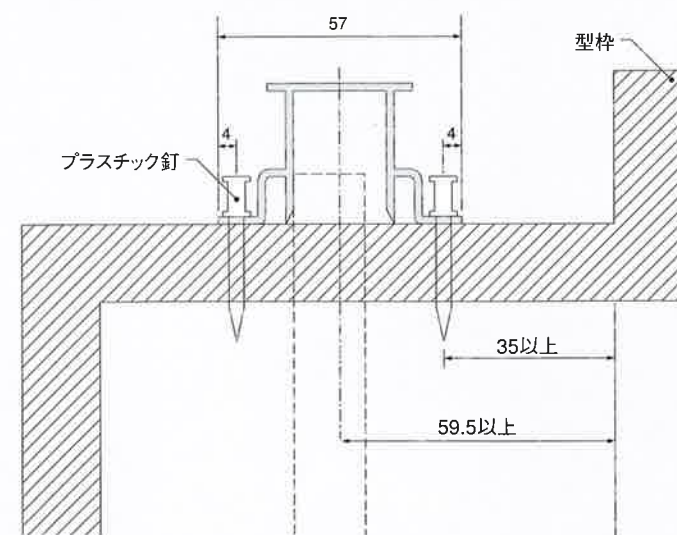
■防水立上がり乾式保護工法の施工順序

- 1 MDガードレール、防水端末押さえ金具、基準墨を確認してから作業に入ります。
- 2 MDガードの取付け出し
- 3 カット作業
- 4 Cチャンネル、チャンバーの取付け
- 5 MDガードの取付け



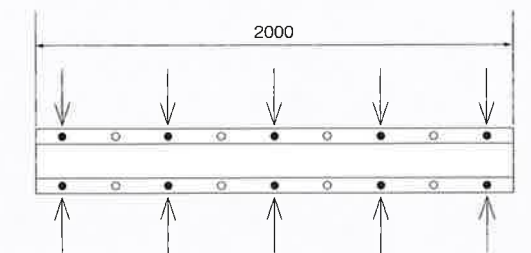
■MDガードレールWの取り付け

- MDガードレールWとプラスチック釘
(バラベツ寸法は120mmを想定しています)



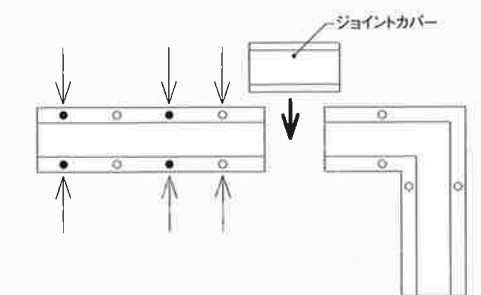
●プラスチック釘打込位置

下図の様に一つおきに5本の釘、両側で10本の釘を打ち込んでください。



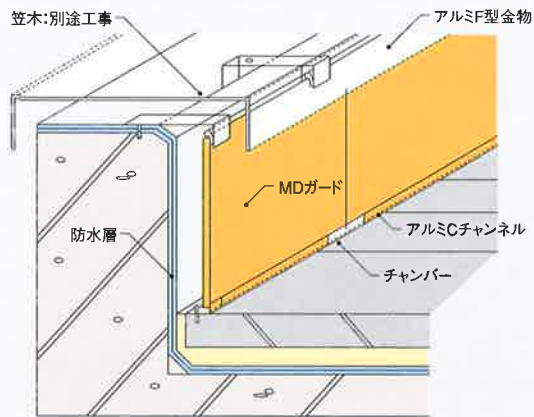
●マモノを切って使用する場合

端部に一番近い穴には必ず釘を打ってください。



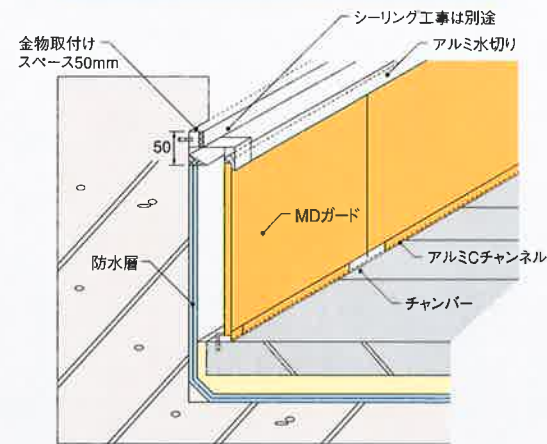
「防水立上がり乾式保護工法」の別工法と納まり図

■アルミ笠木下のF型金物工法 (笠木別途工事)



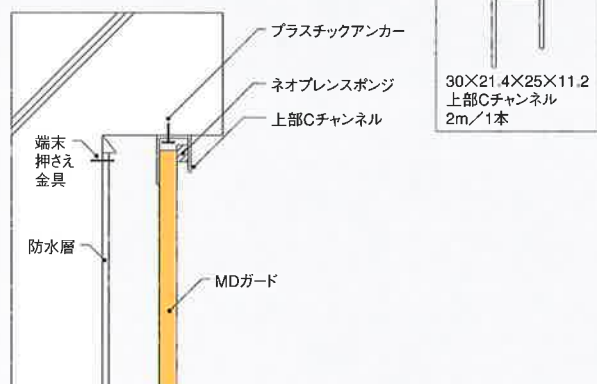
※パラペットにあごがない場合は、F型金物(1m以内)をアンカーで止め、パネルを取り付けます。屋上の有効面積を広げ、工期短縮につながります。

■アゴナシ水切り金物工法



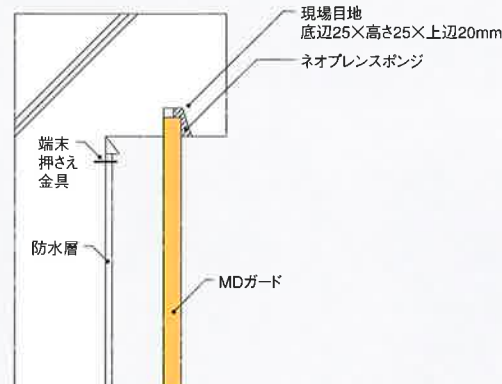
※合理的で抜群の水切効果をもつアルミ水切材で屋上の有効面積を広げます。

■上部アルミCチャンネル納まり図

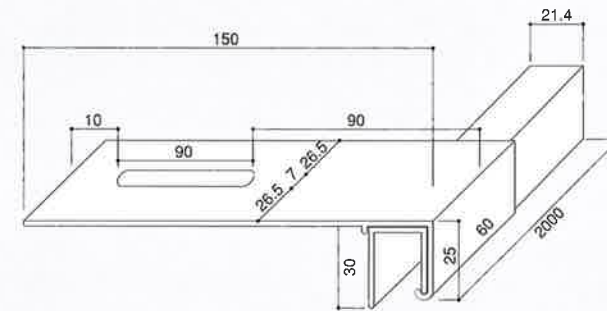


※高さがH400以下の場合にはビス止め作業が困難なため、上部Cチャンネルはボンド止めとさせていただきます。

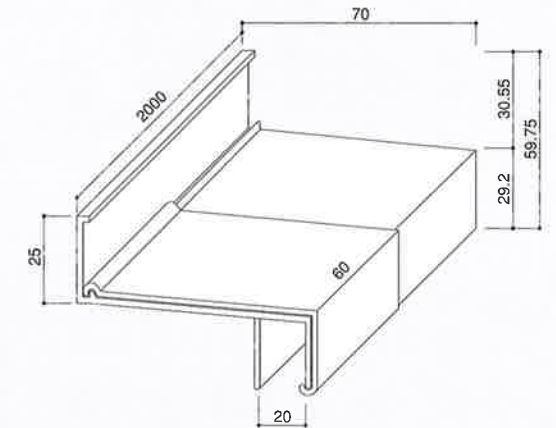
■現場目地納まり図



■F型金物寸法図



■水切金物(70mm)寸法図



■部品

●MDガードレールW (塩ビ) 共通



●Cチャンネル(アルミ)



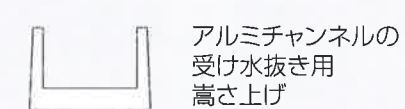
●Lアングル(アルミ) 共通



●15mm用ホルダーL(アルミ)



●15mm用チャンバーL (ABS)



●15mm用出隅・入隅チャンバーL (ABS)



うかし ぱり
浮貼工法 乾式

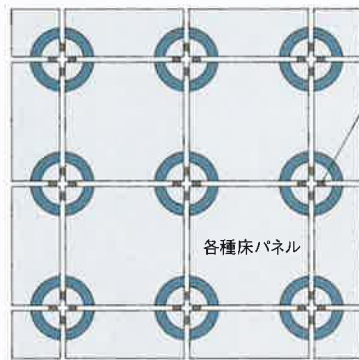
浮貼工法は、段差のないバリアフリーと自然の植物を採り入れた屋上緑化をはじめ、陸屋根・ルーフバルコニー・室内二重床など、快適な住環境を実現します。

二重床式

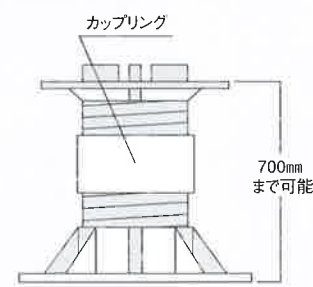
特長

- 耐水性、耐久性に優れたポリプロピレン材質のスタンド。
- 水平レベル調整が可能で、水勾配の高低差が自由自在。
- 仕上がりパターンが選べ、洗練された美しい外観構成。
- 施工が容易でスピーディーに行え、工期を大幅に短縮。
- メンテナンスやリフォームも簡単。

基本構成



基本姿図(スタンド)



床構造



浮貼工法の仕上げ材

- コンクリートパネル
- 洗い出しパネル
- 本石・タイル打込パネル



マット式/マット式&連結金具式

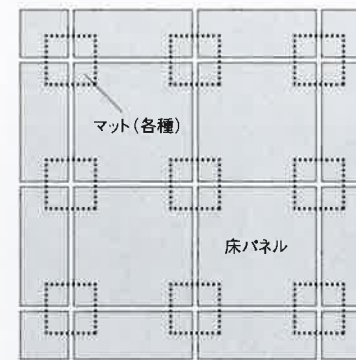
特長

- 伸縮目地や押さえコンクリートが不要。
- 優れた耐久性と確実な防水、断熱効果を発揮。
- 仕上がりパターンが選べ、美しく上品な外観構成。
- 施工が容易でスピーディーに行え、工期を大幅に短縮。
- メンテナンスやリフォームも簡単。
- リフォーム時に製品の再利用が可能。
- 防水層の上に断熱材を使用した場合でも施工可能。



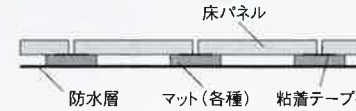
マット式(A工法)

基本構成



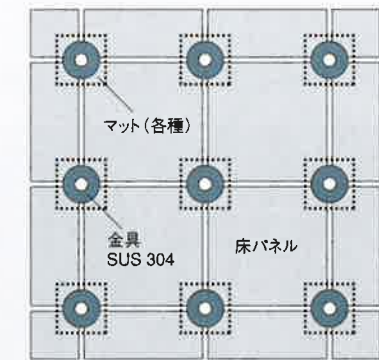
● マット寸法
150×150×10mm

床構造



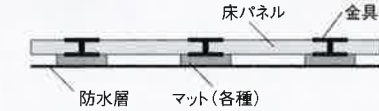
マット式&連結金具式(B工法)

基本構成



● マット寸法/金具仕様
・150×150×10mm
50φ SUS304
80φ SUS304

床構造



ブロックR工法

ブロックと断熱材を一体化、2種類のジョイナーで不陸調整。RC構造物の屋上に最適で、防水層と屋根スラブを厳しい熱環境から保護します。

特長

◎ブロックと断熱材の一体化パネルを採用。

使用するパネルは、ブロックと断熱材を一体化（断熱ブロック）しています。断熱・保護効果をいちだんと高めるとともに、施工が容易で工期短縮を実現します。

◎2種類のジョイナーでフレキシブルに不陸調整。

パネルを支持するセンタージョイナーとエンドジョイナーは、それぞれ不陸調整機能をもっています。下地や施工によってガタが出て、フレキシブルに対応でき、目地通りの据え付けが可能です。

施工方法

1 建築物、周辺環境の調査。



2 断熱ブロックの荷揚・配置。



3 基準ブロック、断熱ブロックの据え付け。



4 ガタの調整、キャップの締めつけ。



5 役物廻りの、ブロックおよびシーリング。



6 縁石ブロックの据え付け

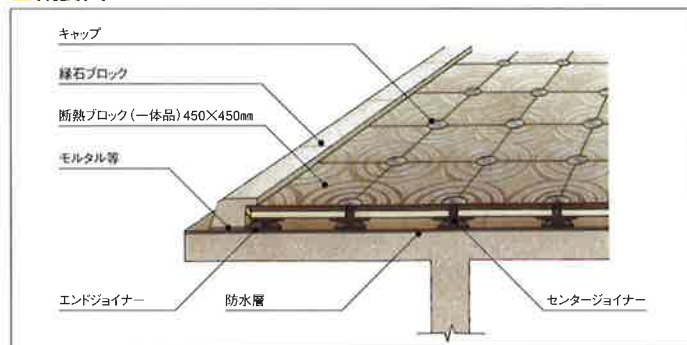


7 後片付け、および清掃。



●ブロック：（一体品）450×450×25+25mm

概要図



ブロックP工法

PC構造物などの不陸調整が不要な構造物に最適。すべての工事・工程が乾式のスピーディー施工により、大幅な工期短縮を実現します。

特長

◎不陸調整が不要の構造物に最適。

PC構造物など、不陸調整のいらない構造物に適しており、据付作業の効率がよく、スピーディーな施工を実現し、大幅な工期短縮が図れます。

◎据付・連結・仕上げのすべてが乾式工法。

断熱材の敷込み・ブロックの据え付けをはじめ、金具による連結、縁石の納めなど、すべての工程が乾式工法ですから、施工が容易で素早く行えます。

施工方法

1 高性能発砲ポリスチレンフォームの敷き込み。



2 断熱ブロックの据え付け。



3 センター金具をブロックにはめ込む。



4 突起物廻りの納め。



5 特殊縁石ブロックの納め。



▲ブロック：450×450×25mm

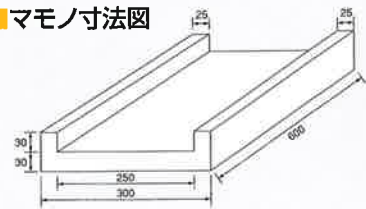
屋上関連工法

PC排水溝

特長

- 従来の型枠工法に比べ、クラックの心配がありません。
- 防水工事後、左官工にて伸縮目地張りと同時に設置が行え、長さ調整、端部加工も通常のペーサンダーで加工が出来ます。
- 排水溝下部分の断熱材をカットする必要がなく、全面断熱材の施工が可能です。(スラブ下からの断熱材(発砲ウレタン)の吹き付けが不要です)

■マモノ寸法図



▲マモノ(W300×L600×H60)▲トメ



▲T型



▲L型



▲センタードレーン
(W550×L600×H60 400φ)

■PC排水溝の施工例



▲直線部分



▲縦引きドレーン部分
(片側の開口部分は左官モルタル仕上げ)



▲伸縮目地取り合い



▲伸縮目地との取り合い部分

■突き付け施工例



■縦樋部分納まり例(T型役物使用)



■センタードレーン納まり例

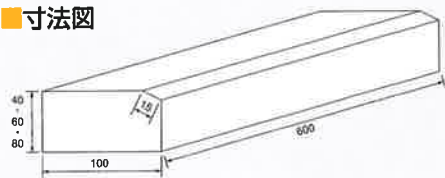


PCボーダー

特長

- PC排水溝では勾配が取りづらい部分に用いることで工期短縮、品質向上の効果を発揮します。
- 防水工事後、左官工にて目地張りと同時に設置が行え長さ調整、加工も通常のサンダーで加工が出来ます。
- 排水溝底部分は左官仕上げが必要になります。

■寸法図



▲W100×L600×H40



▲W100×L600×H60



▲W100×L600×H80

ダイテック株式会社 <http://www.daitech.jp/>

〒334-0074 埼玉県川口市江戸2-12-11 TEL.048-287-2411 FAX.048-287-2412

■代理店